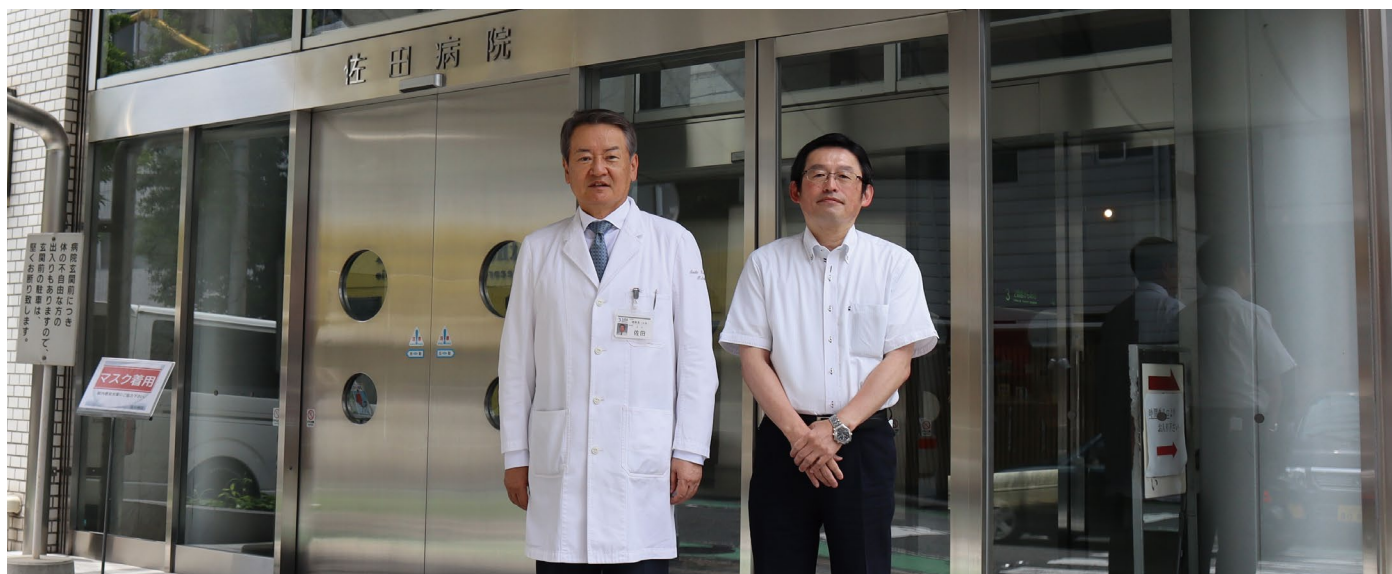


エアアズアサービス導入施設様：



医療法人佐田厚生会 佐田病院

福岡県福岡市



「医療の提供には空調機の安定稼働が欠かせません。故障予知や最適な運転管理を保証するエアアズアサービスは、当院にとって今後なくてはならないサービスになると考えています」

日帰り手術など先進医療の推進と提供に努め、地域医療の発展に大きく貢献している医療法人佐田厚生会佐田病院様。今回、エアアズアサービスを導入した経緯と効果について、理事長 佐田 正之様、総務部長 白石 賢一郎様に詳しくお話を伺いました。

Air as a Service

エアアズアサービス導入概況

建物	：SRC造 9階建 (B1階) 延床面積 6,982m ²
サービス対象	：業務用マルチエアコン・設備用エアコン・店舗・オフィスエアコン
契約年数	：13年
工事概要	：業務用マルチエアコン (21系統)・設備用エアコン (4系統)・店舗・オフィスエアコン (5系統)、室内機台数 (135台)・総馬力数 (307馬力)

内で初めて実施。以来、累計症例は2021年9月に1万例を超え、現在は1万1千例に迫ろうとしています。さらに、整形外科では九州有数の症例数を誇る脊椎脊髄病手術を提供、消化器内科では内視鏡センターにおいて年間約3,500例の検査・治療を行っています。

先進医療を提供する開放型病院

— 医療法人佐田厚生会 佐田病院様の概要をお聞かせください。

1940年に外科病院として発足し、現在は17の診療科目を展開する総合病院として地域の皆様に医療を提供しています。当院の特徴は、先進医療の提供により患者様の身体的負担を可能な限り減らすことで早期の社会復帰を実現していることです。1991年には、胆石の腹腔鏡下胆嚢摘出術を福岡市



— エアアズアサービスを導入された施設を教えてください。

当院にはN棟（北棟）とS棟（南棟）があり、まず2022年4月にN棟へエアアズアサービスを導入しました。2023年6月には、S棟の一部にエアアズアサービスを導入する工事を開始。これが終われば、大半のエリアにエアアズアサービスが適用されます。

その都度、故障した空調機を入れ替えていた

— エアアズアサービス導入以前の空調機更新はどうされていきましたか。

故障した際、その都度入れ替えを行っていました。入れ替える空調機はコスト重視で選定しており、メーカーの整合性などは考慮していません。

また、特定の設備業者とのお付き合いがなかったため、定期的な保守・メンテナンスは難しい状況でした。もちろん、管理を含めたトータルコストを考えると部分的な入れ替えではなく、空調システム自体を見直し全体的に更新する方法が良いのは理解していました。実際、20年以上利用している古い機種もあり、冷暖房の効率は良いとは言えない状況だったと思います。

しかし、目の前のコスト問題は避けて通ることはできません。結局、空調システム全体の更新には踏み切れず、故障した空調機の入替を繰り返していました。そういう意味では、空調システム全体の更新は長年の懸案事項でした。

— エアアズアサービス導入のきっかけをお聞かせください。

ダイキン製空調機の代理店業務を展開されている社長様（理事長と親戚関係）から紹介がありました。

また、院内の食堂を委託しているエムサービス株式会

社の親会社、三井物産株式会社からもエアアズアサービスの紹介を受けました。それで、一度お話を伺ってみようと思った次第です。

— エアアズアサービスと同等のサービスと比較・検討はされましたか。

していません。他社から同様の提案はありませんでしたので、都度、故障した空調機を入れ替えていくか、エアアズアサービスで一括更新するかの2択でした。ただ、病棟の建て替えを検討していたため、エアアズアサービスを導入してしまうと、更新した空調機の移設などのコストが早期に発生する可能性があります。それを考えると、エアアズアサービスの導入は慎重にならざるを得ません。

その検討の最中、新型コロナウイルスが蔓延しました。コロナ禍で先の見通しが不透明であることや建築コストが年々高騰していることもあり、病棟の建て替え検討は一時中断。エアアズアサービス導入の方向に傾いていきました。

故障を未然に防ぐ仕組みに期待

— エアアズアサービスの導入理由を教えてください。

もっとも大きな理由は、空調遠隔監視サービス（エアネット）によって空調機の安定稼働が可能になることです。故障予知により突発故障を未然に防ぐエアネットの仕組みは素晴らしいと思いました。定期的なフィルター清掃など、空調機本来の性能を引き出す保守・メンテナンスがあるのも心強いと思いました。しかも、費用はサブスクリプションによる定額制で初期投資は不要。中長期的視点から結果的に、安価で安定的に空調機を運用できると考えました。

また、空調機の稼働状況をデータ化し、そのデータをもと



理事長 佐田 正之様



総務部長 白石 賢一郎様

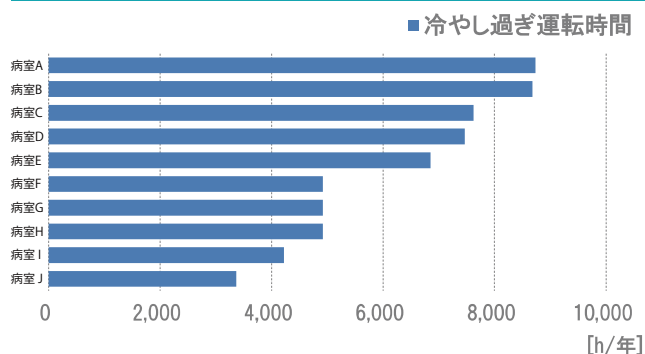
に光熱費や機器容量を最適化できるとのこと。これによるコスト削減にも期待しました。

— エアアズアサービスの導入工事においてダイキンエアテックノの対応はいかがでしたか。

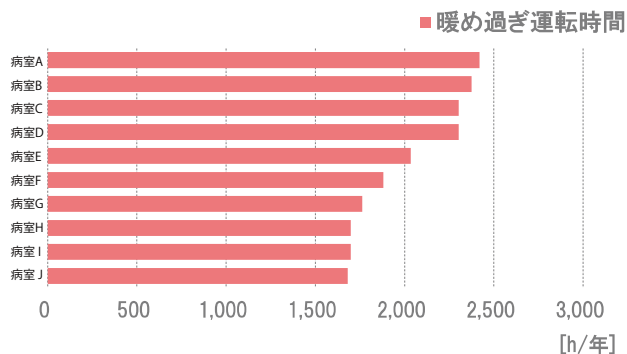
入院されている患者様のホスピタリティの担保、手術スケジュールなどを考慮した施工計画をベースに工事を進めていただきました。おかげさまで滞りなく工事が進み、予定通りエアアズアサービスを開始することができました。

● 年次レポートから抜粋した室内機別運転時間ランキング

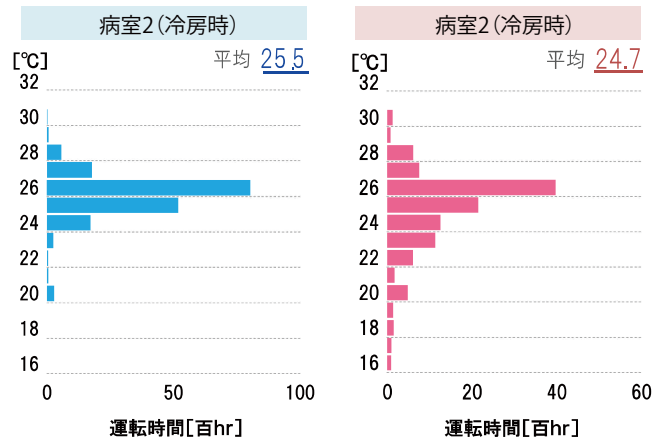
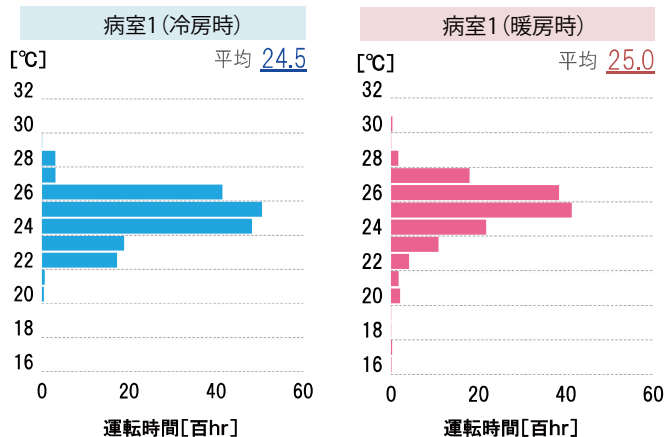
冷やし過ぎ運転時間ランキング
(冷房設定温度25℃以下 運転時間)



暖め過ぎ運転時間ランキング
(暖房設定温度25℃以上の運転時間)



● 年次レポートから抜粋した系統別リモコン設定温度ランキング



エアアズアサービス導入を機に入れ替えた1階受付の室内機



エアアズアサービスで室内機の入替えを行なった病室

手に入れたのは見守られている安心感

— エアアズアサービス導入後の評価をお聞かせください。

エアアズアサービスを導入したことで、見守られている安心感を手に入れることができました。医療機関としては、院内の室温を自動的にコントロールできることが何よりも有り難いと考えています。また、保守・メンテナンスを心配する必要がなくなったのも大きなポイントです。稼働して1年足らずのため、

具体的な評価ポイントについては把握しきれませんが、お話しできる範囲のところを以下に述べさせていただきます。

コスト削減に期待

先日エアズアサービスから、エアネットで1年間監視し続けた年次レポートをいただきました。この年次レポートには、月別電力消費量、空調機全体での消費電力推移、系統別運転時間状況、室内機別運転時間ランキングなどがグラフや表で詳細に見える化されていました。使い過ぎや人の有無での稼働状況もわかりますから、空調機の最適化に着手することが可能。実際、すでに契約電力を約12%下げることができました。

遠隔監視の安心感

以前は1系統が故障すると4～5室の空調機に影響が出てしまい、多くの患者様にご迷惑をおかけしていましたが、エアズアサービスを導入したことで、空調機の故障をしばらくは心配する必要がなくなりました。しかし、何よりもエアズアサービスで期待しているのは、遠隔監視によって空調機の故障を予知し、突発故障を未然に防げること。仮に故障しても、72時間以内に復旧という素早い対応にも魅力を感じています。つまり、エアズアサービスなら、将来的に空調機が故障しても患者様への影響を最小限に留めることができるということです。

生産性の向上

以前、空調機の故障が多発していたときは、患者様や職員からのクレーム対応や設備業者との交渉などの業務に追われることが多く、ストレスにつながってしまうこともありました。エアズアサービス導入後は、空調機のことをほとんど心配する必要がなくなりましたので、ストレスから解放され、本来すべき業務に注力することができるようになりました。

親身な担当営業の対応

最初はいわゆる営業マンというイメージでしたが、長くお付き合いしていくなかで当院の空調環境はもちろん、さまざま

まなところまで相談できる方だと分かりました。適切な言葉かどうか分かりませんが、経験豊富で引き出しの多い方という印象です。親身な姿勢にはいつも感謝しています。

全体のコストを削減するプロの空調管理

— エアズアサービスの先行ユーザーとして、空調機の更新や管理に悩まれている施設管理者に向けたアドバイスがあればお願いします。

空調機を長持ちさせ、全体のコストを削減するには、プロの目線によるしっかりした管理が必要だと考えます。それを可能にするのがエアズアサービスで、現場の手を煩わせることなく、空調機の最適化を図ることができます。そういう意味で、エアズアサービスは導入する価値があると思います。

— 最後にエアズアサービスとダイキンエアテクノに対する期待をお願いします。

最初にご提案いただいたのは、コロナ禍の半年前だったかと思います。その後、コロナ禍になり、しばらく身動きできない時期もありましたが、今こうしてエアズアサービスが稼働している状況は感慨深いものがあります。当院の空調環境を改善すべく、辛抱強くご提案いただいたエアズアサービス、そしてダイキンエアテクノには感謝の言葉を述べさせていただきます。そして、これからも当院の空調環境においてご支援を期待しています。引き続きよろしくお願いします。

エアズアサービスより

弊社から「適正容量化で建設コストとランニングコストの低減」と「利便性向上と効率化」を提案し、ご採用いただきました。工事中には病院スタッフの皆様にもご協力いただき、2022年4月からサービスを開始しております。近年、空調設備は重要なライフラインと位置付けられており、弊社では常に「快適な空気」をご提供できるよう努めております。佐田病院様と長いお付き合いをさせていただけることに感謝し、「空気」で病院のますますのご発展の一助となれるよう努めて参ります。今後ともよろしくご厚意申し上げます。

【サービス提供元】

AaaS

エアズアサービス株式会社
<https://airasaservice.com/>

月額固定料金で快適な空調空間を提供する、ダイキンエアテクノと三井物産との合弁会社です。

空調設備の導入・更新・運用に関するお困りごとをワンストップで代行。手間と費用を軽減し、省エネで快適な空調空間を提供します。

日々の運転管理や定期的な清掃といったメンテナンス・フロン排出抑制法対応等を、ICTの利活用により効率化且つ高度化し、コストミニマムサービスとしてお客様に提供しながらも、予防保全（予防メンテナンス）によって止めない空調を実現し、安心・快適な室内環境づくりをお約束します。

DAIKIN

ダイキンエアテクノ株式会社

(本社) 東京都墨田区両国2-10-8 住友不動産両国ビル

<https://www.daikin-at.co.jp/>

TEL (03) 5624-6301

FAX (03) 5624-6302